

R4年度 事前評価調書（内部評価）

1 事業概要

事業名	りんくう公園 中地区 整備事業	
担当部署	大阪府 岸和田土木事務所 都市みどり課（連絡先 072-439-3601（内線 352））	
事業箇所	大阪府泉南郡田尻町及び泉南市 地内 他	
事業目的	<p>りんくう公園は関西国際空港の対岸に位置し、泉佐野市、田尻町両域（計画区域は更に泉南市を含む）にまたがり、世界に開かれた空港の玄関口として、魅力ある都市景観の創出や快適環境の創造を目指して、平成3年に都市計画決定された公園であり、平成8年に整備され、現在20.1haが開設済みである（令和4年4月現在）。</p> <p>本事業では、未開設区域のりんくう公園中地区において、民間活力を導入し、開設済の公園エリアや周辺地域資源と連携し、より一層賑わいと交流を創出することを目的とする。</p>	
事業内容	<p>都市計画決定面積（りんくう公園） : 61.2ha うち中地区 : 4.9ha</p> <p>〔開設済面積 : 0.0ha（R4.12末） 未開設面積 : 4.9ha（うち護岸およびマーブルビーチ部分 2.8ha）</p> <p>（未開設区域の主な整備予定施設） 園路、広場、休憩所、民活用地（便益施設、駐車場等）</p>	
事業費	<p>当該地区全体事業費：約 13.4 億円 （内訳）用地費 約 11.6 億円（R4 路線価を基に設定） 工事費 約 1.8 億円</p>	
	<p>【事業費の積算根拠】 予備設計成果を基に概算事業費を算出</p>	<p>【工事費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成費 約 0.3 億円 ・建設費 約 1.5 億円
事業費の変更要因	—	
維持管理費	約 8 百万円/年	
関連事業	—	

2 事業の必要性等に関する視点

<p>上位計画等における位置づけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府都市整備中期計画（R3.3改訂）：着手として位置づけ ・りんくう公園マネジメントプラン（案）（R4.4）：「関空の対岸という立地を活かし、周辺の集客施設と一体となった観光拠点となる公園」として公園づくりを推進する、と位置づけ
<p>優先度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上位計画（大阪府都市整備中期計画、りんくう公園マネジメントプラン）において位置づけがある ・周辺で賑わい施設の集積が進む中、りんくう公園の一部として開園が予定される中地区においても、民間活力による新たな公園整備が求められている。 <p>以上より、優先度は高い。</p>
<p>事業を巡る社会経済情勢等</p>	<p>府営りんくう公園周辺では、令和元年12月に泉佐野市域で関空アイスアリーナを中心とするりんくうアイスパークが開業し、令和2年度には泉南市営泉南りんくう公園（泉南ロングパーク）が民間活力の導入により開業、さらに、泉佐野市域でりんくうプレミアムアウトレットが開設区域の隣接地に拡張されるなど、賑わい施設の集積が進んでいる。</p>
<p>地元の協力体制等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体からの整備要望がある。 ・りんくうタウン活性化推進連絡会にて、周辺自治体との連携体制が構築されている。
<p>事業の投資効果 ＜費用便益分析＞ または ＜代替指標＞</p>	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接利用価値 ・間接利用価値（環境、防災） <p>【分析結果】</p> <p>（全域）B/C=1.42</p> <p>B=18.4億円 C=13.0億円</p> <p>【算出方法】 効用関数法で算出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接利用効果（直接的に公園を利用することによって生じる） 健康、心理的な潤い、レクリエーション空間の提供 ・間接利用効果（間接的に公園を利用することによって生じる） 都市環境維持維持・改善、都市防災効果、都市景観向上 <p>※改訂第2版小規模公園費用対効果分析手法マニュアル （H30.8発行、国土交通省都市・地域整備局公園緑地課監修）</p> <p>【受益者】</p> <p>公園利用者、周辺住民</p>
<p>事業効果の定性的分析 （安心・安全、活力、快適性等の有効性）</p>	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実際に公園を利用する、または将来の利用を担保する価値（「利用」価値） ○都市景観の向上、都市環境を維持・改善する価値（「環境」価値） ○震災等災害時に有効に機能する価値（「防災」価値） <p>【受益者】</p> <p>公園利用者、周辺住民</p>

3 事業の進捗の見込みの視点

事業段階ごとの進捗予定と効果	令和5年（2023年）度：事業者公募 令和6年（2024年）度：工事
完成予定年度	令和6年（2024年）度

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

代替手法との比較検討	・民間活力の積極的な導入並びに地元市町村及び公園周辺の事業者との連携により、公園の賑わいづくりや利用者サービスをさらに高めていくとともに、コスト縮減（府費負担の軽減）も実現しつつ、様々な周辺地域の課題についても柔軟に対応することが可能。
------------	--

5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	・当臨海部の海岸線においては、商業地や工場地が多くを占め、緑被の割合が低い中で、りんくう公園の緑は、関西国際空港の対岸である「りんくうタウン」の海岸線全域を緑地で構成する貴重な空間となっている。
その他特記事項	—

6 評価結果

評価結果	<p>○事業実施</p> <p><判断の理由></p> <ul style="list-style-type: none">・りんくう公園は、泉佐野市、田尻町両域にまたがり、世界に開かれた空港の玄関口として、魅力ある都市景観の創出や快適環境の創造をめざして計画され、「みどりの大阪推進計画」に掲げる緑のネットワークの拠点として重要な役割を果たしている。・本事業を実施することで、りんくう公園全体での魅力向上や快適環境の創造が図られる。また、民間活力を導入し、周辺自治体や周辺施設と連携することで、りんくう公園周辺地域一体での賑わいづくりに寄与することが期待される。 <p>以上の理由から、事業を実施する。</p>
------	---

令和4年度 事前評価 (りんくう公園 中地区 整備事業)

